

フォレストニュース

植林が地球を救う

令和1年(2019)5月10日

No. 137

発行 高津啓洋

春季セミナー開催

去る4月27日(土)、午前10時半から午後4時すぎまで、春季・第19回パンタナール一日研修会(ワンデイセミナー)南北米福地開発協会と共催し、東京代々木のオリンピック記念青少年総合センター、センター棟403号室で開催しました。窓からは、萌える新緑の木々が目に飛び込んでくる部屋です。今回が平成最後のパンタ

ナールセミナーとなりました。

セミナーは、午前の講義の後、棟の外に出て、新緑に囲まれた階段で全体記念写真を撮影し、その後青少年総合センター内の食堂で昼食に入りました。午後のプログラムは十二時四十分から、高辻章子さんの歌う「パンタナール賛歌」で始まりまして。

「地球の緑を守る会」代表理事



の高津啓洋先生による講義は、参加者たちを南米パンタナールに生息する様々な動物(巨大タガメ、カイマンワニの頭蓋骨、ピラニアの剥製、ガラガラ蛇のしっぽ等)の標本に触れさせながら、パラグアイでの植樹活動や、植樹・植林の師・宮脇昭先生(当会顧問)との出会いと、日本における同会の支部活動の様子が語られました。

今回のセミナー全体の印象として、レダに関心を持ち、レダに行きたいと熱望する青年が増えてきていること、長期ボランティアに参加した子供の姿に感動しセミナーに参加される親御さんが出てきていることです。今後もこのようなセミナーを更に充実させて行きたいと思

います。皆様のご支援・ご尽力に感謝致します。実行委員長、後藤誠一記

植樹20周年に顕彰碑

レダ植樹者顕彰碑の設置。

レダでは、今日まで植樹を通して様々な支援活動に貢献くださった方々を顕彰し、レダ開拓20周年を記念し、顕彰碑を建てることとなり、準備が進められています。20年の間には、植樹地も多くの試練を超えてきました。パンタナール特有の長期間にわたる植樹地の水没。日照りによる、成長の停止等がありました。現地での担当者 노력により、多くの木々が成長し続けています。



グレープフルーツが多くの実をつけました

[お知らせ] 7月27日(土) 国立オリンピック青少年センターで、夏の1日セミナーを開きます。参加希望を募っています。